

## 主な対策の工程

【 参 考 資 料 】  
平成 27 年 3 月 16 日  
東京電力株式会社

主な対策	対策概要	今後の見通し
汚染水の浄化処理	汚染水浄化設備によって漏えい時の影響・被ばくりスクを低減させる取り組み	タンク内60万トン余りのうち、一部( )を除き、5月末までに一度は処理を完了( )海水の影響を受けている事故当初の汚染水(約2万トン)
タンクに起因する敷地境界実効線量1mSv/年未満	汚染水浄化を進めることによってタンク起因の敷地境界実効線量1mSv/年未満とする取り組み	3月末に達成の見通し
海水配管トレンチからの高濃度汚染水の除去(2～4号機)	2～4号機海水配管トレンチを閉塞充填し、トレンチ内の高濃度汚染水を除去する取り組み	6月に除去完了(3月末時点では、約5割除去)
陸側遮水壁の凍結開始	1～4号機建屋四方を囲う凍結方式の陸側遮水壁を設置して、建屋内への地下水流入を抑制する取り組み	4月に一部(凍結しにくい箇所)先行凍結、5月に山側全体の凍結を開始可能(ただし規制委の認可が必要)
地下水流入抑制のための敷地舗装	発電所敷地内の線量低減並びに雨水の地下浸透を抑制する取り組み	線量の高い箇所や工事調整が必要な箇所を除き3月中の概成(約7割)達成
汚染水貯蔵用タンク80万m <sup>3</sup> 確保	増加する汚染水を十分に貯蔵できるよう計画的にタンクを確保する取り組み	3月中に80万トン達成(中長期ロードマップより2年前倒し)
港湾海底土の被覆	港湾内の海底土砂の拡散を防止する取り組み	5月完了
大型休憩所、給食センター	現場で働く方々の労働環境改善に向けた取り組み	給食センターは3月完成 大型休憩所は5月完成予定になるが、4月より順次、給食の提供

1月に発生した死亡災害に伴う安全点検により、約2週間作業を中断したため、半月から1か月程度の工程スライド